



さんじょう

八戸市立三条小学校
令和2年度学校だより
第21号
令和3年1月15日
TEL 27-2216



3学期スタート

校長 河村雅庸

1月13日の朝7時10分、いつもよりも少し早めに学校の玄関を出て、通学路の様子を確かめようと歩き出しました。すると、学校すぐ前の遊歩道に向こうから登校してきたのは3年生の男の子。顔が分かる距離に近づいたとき、「校長先生おはようございます。3学期もよろしくお願ひします。」と、その子から、気持ちのよい挨拶をもらいました。新年最初にもらった挨拶の素晴らしさに感激しながら、三条夢橋のあたりから西高校の方へ歩いていると、その後も、たくさんの子から元気な挨拶をもらいました。こうして、私自身の3学期が明るくスタートしました。保護者・地域の皆様方におかれましては、穏やかな年の初めを迎えられたことと存じます。

3学期がスタートしました。この冬休みは、大寒波襲来で大変寒く、大雪もありましたが、病気や怪我をした子がなく、また、事故・非行等もなく、子どもたちがみんな明るい表情で3学期の始業式を迎えられたのが何よりでした。休み中見守ってくださった保護者、地域の皆様のお陰と心から感謝申し上げます。

さて、3学期の始業式は、コロナ感染症対策を考慮し、放送による始業式としました。スピーカーから流れる話を耳だけで聴く始業式です。教室で座って聴くということもあり、いつもより少し長く、10分ほど話してしまいました。うまく伝わったかな?と心配もありましたが、担任の先生方から、どの学級でも最後までしっかり聴いていたということではほっとしているところです。まずは、話の聴き方100点でスタートできたようです。

さて、その始業式で次のような話をしました。

・・・新しい年になり最初に学校に来た日、教頭先生がいつにもまして、にこにこしていました。そして、校長先生に、こう話してくれました。「おみくじを引いたら大吉だったんですよ」みなさんも、初詣に行っておみくじをひいた人が多いと思います。校長先生も新しい年の最初の日、元旦の日に神社に初詣に行きました。朝の6時20分頃だったかな。そしてお参りをしたあとに、おみくじをひきました。今年は、どんな年になるのだろうか、期待を込めておみくじを開いたところ、「末吉」でした。

おみくじの縁起の順番は、上から、大吉、中吉、小吉、末吉となります。ですから、校長先生のひいた今年の運勢は、「一番小さな吉」ということとなります。ちょっと残り残念で不安な気持ちがよぎりました。

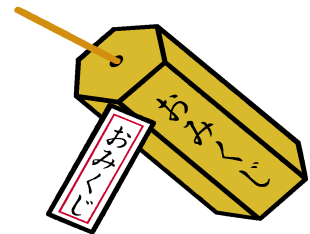
しかし、その気持ちを吹き飛ばしたのが、その下に小さく書かれた次の文です。

「あせらずに、困難な事にも我慢をして、希望をもち、小さな喜びを積み重ねていくことで夢がかなうでしょう。」

末吉ですが、何か力がわいてきました。

そして、こう思ったんです。校長先生がひいたおみくじは末吉でした。「小さな小さな吉」です。でもね、実は、私たちの日々の生活の中には、いくつもの「小さな吉」があると思っています。そして、それを見逃すのか、それとも、それに気づいてその小さな吉を膨らませていくかは、自分次第だなあと改めて思いました。

毎日の「小さな吉」をたくさんあわせて、みなさんの一年間と三条小の一年間が、希望でいっぱいになるよう力をあわせていきたいと思ひます。



今年も、コロナ禍での生活となると予想されますが、日々の「小さな吉」をみんなで膨らませ、心豊かでたくましい三条っ子に育つよう、そして、いい思い出がたくさん残せるように、教職員一同がんばって参ります。よろしくお願ひいたします。

～作品紹介～

<学校保健会ポスターコンクール> 教育長賞 6年2組 川崎 草太さん



見事、教育長を受賞したこのポスターは、印刷されて、市内全小・中・高等学校へ配布され、各校に掲示される予定です。